

天竜林材業振興協議会

令和6年度 モニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	5	13	16	20	19	10	9
計							92

2 考察

- 報告内容から、全体的に「森林作業共通仕様書」に基づいた、適切な作業が実施されている。またつるを残した適切な伐倒や掛り木の処理についてのコメントが多く見受けられており、安全面に対する意識が年々高まっているように感じられた。
- また、本年度から炎天下での作業に伴う熱中症への対策や大雨を想定した作業道の設定等、近年の気候変動を意識した対策が多く報告されている。いずれも事故の発生や新規就労者の確保等にも繋がる大きな問題であり、今後も対策を徹底されたい。
- 当地域は急峻な地形が多く、傾斜が緩やかなルートを選択するなどの安全面への配慮がみられる。重機やコンテナ苗等の積極的な活用により、作業効率を上げ、安全面と効率のバランスを鑑みながら、計画策定及び施業を実施していく必要がある。
- 食害に対する意見も多く見られており、防護柵や単木ネットを設置した箇所の多くは食害を防ぐことが出来ているなど、食害対策として効果的であることが伺える。一方で防護柵のネットが破られており、補修作業を行ったという報告もされている。設置だけでなく、そのあとの見回り、補修作業も含めた計画により、効率的に食害対策を講じていくことが重要だと思料。

3 備考

- ※ 各サイトの結果については、別紙資料1～9のとおり。

(資料1)

令和6年度 春野サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	2	4	5	4	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 下刈りは、植栽木への損傷もなく林地保全意識の高まりを感じた。
- ・ 現場は傾斜が急なところが多く、事故が起きないように意識して施業されている。

(3) 除間伐

- ・ 全体的につるを残した伐倒が確認されるなど、適切な施業が行われている。
- ・ 掛り木になった場合、ロープやチルフォールを活用するなど、作業効率よりも作業安全を意識した施業が行われている。
- ・ 全体的に施業前は日光が入りにくい現場が多かったため、施業により下層植生が増えるか観察を継続していく。

(4) 伐採・搬出

- ・ 適切な間伐率で施業されており、ほどよく日光が入るようになっており、残存木の成長が期待できる。
- ・ 太い木が多い現場も見られたが、全体的につるを残した伐倒を実施しており、安全面に配慮した施業が行われている。

(5) 林道網

- ・ 既存路網の延長など形質の変更を最小限度にとどめていた。傾斜が緩やかな地形を選んでルート選択されているなど安全面への配慮も感じられた。
- ・ 除間伐作業は広葉樹を残して行われており、林地保全に配慮した作業が行われている。

3 考察

- 報告から全体的に傾斜が急な現場が多かったが、事故が起きないように安全に配慮した施業が行われていた。
- 適切な下刈り、間伐が行われており今後の成長が期待できる。今後も FSC 担当者
と現場作業員との密な情報共有を通じて、より良い森林管理が実現することに期待する。

4 備考

(資料2)

令和6年度 水窪サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	0	1	1	1	1

2 特記事項

- (1) 植林・地拵え
 (2) 下刈り・つる切り・枝打ち
 (3) 除間伐
 ※ 該当なし

- (4) 伐採・搬出
- ・ 効率の良い林道作成が行われており、残存木を傷つけない、広葉樹を残すなど、環境にも配慮した施業が行われている旨、報告された。
 - ・ 切り株につるを残すなどのガイドラインに沿った施業が行われている。また応急手当の道具の携帯や安全装備の徹底など、施業者の安全面への意識がみられる。

- (5) 林道網
- ・ 森林の現況を把握し、広葉樹を残すなど自然環境の保全に努めた施業が行われている。
 - ・ 現場の間伐材を活用した簡易的な橋の作成や掘削に伴う残土の利用、抜いた根株を盛土に埋め込み道の崩壊を防ぐ等の現場で発生する資源を活用した施業が行われている。

3 考察

- 一昨年度から指摘されている安全面への改善を意識した施業が伐採・搬出、林道網の作成どちらにおいても行われている。今年度サイト内にて大きな事故が発生しており、今後更なる安全面への配慮の徹底に配慮されたい。

4 備考

(資料3)

令和6年度 佐久間サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	1	1	1	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ 枯れ木を優先的に処理しており、今後の施業の効率化や安全面への配慮が見られる。

(4) 伐採・搬出

- ・ 作業道沿線の施工地であり、効率的な路線選定を行うことで作業路開設の低コスト化を目指している。

(5) 林道網

- ・ 急峻な斜面に対して無理な勾配の道を設置しないなど安全面への配慮がみられる。
- ・ 路網の計画は作業者と現地確認のうえ、事前協議して施業されている。

3 考察

- 佐久間サイトのモニタリングは、サイト担当職員だけでなく、サイト監事も同行して現場を訪問する手法でグループ唯一。第三者からの意見も伺える効果的・効率的な方法だと思料。
- 事前調査による効率的な作業路の作成がされているだけでなく、安全面・効率も重視した施業が行われている。

4 備考

(資料4)

令和6年度 龍山サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	3	2	3	3	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- 作業に合わせて、防護柵の補修や覆いかぶさっている土の除去等を行っている。獣害対策は非常に重要であり、今後も定期的な見回りが必要であることが報告されている。

(3) 除間伐

- 伐倒木は等高線沿いに寝かせるようにしており、近年の大雨による被害防止への対策も徹底されている。

(4) 伐採・搬出

- 付近に水道タンクが設置されている現場やテレビアンテナケーブルが伸びている現場等、それぞれ注意すべき点が異なるが、条件にあった安全な伐採方法をミーティングで周知するなど、安全管理への意識向上が見られる。
- 現場に応じてプロセッサやフォワーダ等の車両系を積極的に活用しており、効率的な施業を行っている。

(5) 林道網

- 土がぬかるみやすく降雨の影響を受けやすい箇所については、石等を敷いておくなどの対応を行っている。また排水がうまく機能するように水切りの箇所を工夫して行うなどの配慮も見られた。
- 生活道路付近の現場はすぐ下の車道に伐倒木や石が落ちないように事前のミーティングを入念に行い、最新の注意を払って作業が行われたことが報告された。

3 考察

- 各項目において、安全性と効率性を高めるための工夫が見られる。炎天下での作業が多いため、熱中症対策の徹底や大雨に配慮した水切りの工夫など、近年の気候の変化にも対応して施業が意識されている。

4 備考

(資料5)

令和6年度 天竜サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	2	6	4	4	4	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ・ ニホンジカ等の野生動物が多く生息する地域であり、食害防止を目的としたステンレス入りネットの防護柵や単木ネット柵の設置が適切に行われている様子が報告された。
- ・ 作業者の日よけのため、植栽木の成長に影響がない範囲で残す等の配慮がみられる

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- ・ 枝打ちは樹高によって調整しており、施業後は非常に明るく、風も通りやすくなっており今後の成長が期待できる。
- ・ 競合する雑かん木の除去とつる切りを行い、苗木は順調に生育している。適切かつ丁寧な作業により、枝の少ない、スラっとした森林を形成することが出来ている。

(3) 除間伐

- ・ 伐採木は等高線沿いにきれいに片付けることを徹底しており、土止め効果にも期待できる。
- ・ 伐倒にあたって、チルホールを用いてけん引するなど、残存木への損傷を最小限にすることを意識した施業を行っている。

(4) 伐採・搬出

- ・ 樹種、直材、曲がり材等のそれぞれに合った造材を行い、木材の有効活用を図っている。
- ・ 適切な間伐により、林内に光が入ることで今後の下層植生が見込まれ、水源涵養等の森林の機能向上が期待できることが報告されている。

(5) 林道網

- ・ スイッチバックが多い箇所について、雨水が下の路面まで流れないように配することができる施工を行っている。
- ・ 市道からの開設のため、現地発生岩を破砕、路面に敷均し、市道に出るときの土の引っ張りを防ぐ等の工夫が凝らされている旨、報告された。

3 考察

- 森林組合が作業する箇所に加えて、森林所有者が直接作業する箇所も散見されるため、組合員と森林所有者との密なコミュニケーションがFSCの原則を遵守していく上で、必要不可欠であると思料。

(資料6)

令和6年度 引佐サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	2	3	3	3	2	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

※ 該当なし

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

- 各チェック項目に注意して作業しており、適切な感覚を開けて上下作業を避けた作業を行っているなど安全面への配慮が見られた。

(3) 除間伐

- 適切な施業により適度に日の光が入る森林となっている。下層植生の回復が今後、期待できる。
- 掛り木が発生した際は都度、熟練者に相談しており、安全に対する配慮が見られた。

(4) 伐採・搬出

- 造材機や架線集材の使用時に、作業道付近の木にカバーを設置するなど残存木に対する保護が行われている。
- 沢がある現場では特に造材木を回収するなど、環境面への配慮も行われている。

(5) 林道網

- 小面積の集合体のため、作業道の延長を抑えて潰れ地を少なくすることを意識して、計画及び事業実施を行っている旨、報告された。
- 法面付近の残存木の保護に配慮した施業を行っている。

3 考察

- 全体的に各チェック項目に則った施業がされており、安全性、効率性、環境への意識の向上が読み取れる。
- ルート・構造等の選定に当たり、計画時に十分な打ち合わせを重ねた上で行われている。

4 備考

(資料7)

令和6年度 市有林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	0	0	1	0	0	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- ・ 仕様書や整備計画等を遵守した施業を行っており、つるを残した適切な伐倒、下層植生を確保した施業が実施されている。

(4) 伐採・搬出

※ 該当なし

(5) 林道網

※ 該当なし

3 考察

- 適切な方法で環境にも配慮した事業実施が伺えた。
- 重機等に救急箱を用意してあることが確認でき、安全面への配慮がされている。

4 備考

(資料8)

令和6年度 県営林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	1	0	1	0	0	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- 一部全幹集材により枝条も搬出するなど、植栽作業に支障がないような配慮がなされている。
- コンテナ苗を活用し、速やかな植栽も行われている。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

- 伐倒木をナンバリングによる全数管理しており、適切な伐採方法が行われている。
- 掃除伐は安全性を確保しながら下層植生を残して実施しており、周囲の環境への影響もみられていない。

(4) 伐採・搬出

※ 該当なし

(5) 林道網

※ 該当なし

3 考察

- 全体的に丁寧な施業がされているだけでなく、全幹集材やコンテナ苗の活用等、様々な方法を積極的に取り入れている。
- 安全面を確保した施業も行われており、これはサイト管理者の注意により、サイト全体で意識が共有されている成果と見受けられる。

4 備考

(資料9)

令和6年度 国有林サイトモニタリング結果報告書

1 実施数

	植林・ 地拵え	下刈り・ つる切り・ 枝打ち	除間伐	伐採・ 搬出	林道網	定点観測	保護区 の巡視
実施 箇所数	2	0	0	3	2	1	1

2 特記事項

(1) 植林・地拵え

- ・ 契約時の安全指導の徹底、契約完了時の検査や聞き取り、出来高写真等により適切な作業が実施されていることが報告されている。
- ・ コンテナ苗の活用等により、効率的な植栽を行っている。

(2) 下刈り・つる切り・枝打ち

※ 該当なし

(3) 除間伐

※ 該当なし

(4) 伐採・搬出

- ・ 伐採時に広葉樹を極力残す等の環境面への配慮が見られる。
- ・ 雨天後の路肩の損傷に注意しており、また要所に鉄板等を敷くなど、搬出に伴う林道を傷めないように注意している。

(5) 林道網

- ・ 設計や仕様書の内容を遵守し、適切な作業が実施されている旨が報告された。

3 考察

- 契約完了時の検査や関係者への聞き取りにより、作業の適切性が確認された。
- 施業前のリスクアセスメントを行い、それぞれの現場で起きたヒヤリハットを共有するなど、同じような事故が起きないように今後も注意して施業いただきたい。
- 今後のモニタリングにおいては、更なる森林管理に対する意識や技術の向上のため、過去の指摘事項（掃除伐減少、伐開幅等）への現在の対応や地域的なテーマ等を意識した国ならでの実施、報告内容を期待する。

4 備考